

令和元年度 今泉小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

- ◇基本目標 豊かな人間性を持ち、主体的に判断・行動し、自らの向上と社会の発展を目指してたくましく生きる児童を育成する。
- ◇具体目標
- 1 明るく思いやりのある子（思いやり）
 - 2 自ら考え進んで学ぶ子（創造力）
 - 3 元気で、やりぬく子（体力・気力）
- 合言葉「今泉の子 やさしく かしこく たくましく」

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「明るく 楽しく 喜びいっぱい 心のふるさと今泉小」（キャッチフレーズ）の創造
家庭、地域の信頼と協力の基、誰もが夢や希望を抱き、喜びややりがいをもって生き生きと生活し個々の力を伸長できる、児童、家庭、地域とともに歩む学校

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 自ら進んで考え、楽しく学び合う人づくり
・学習のねらいをより具体化・明確化する工夫と、地域教育力の積極的な活用
- (2) 当たり前のことが自然にできる人づくり
・縦割り班活動（にこにこ活動）の充実と、地域ぐるみのあいさつ運動
- (3) 自ら健康や体力づくりに励み、たくましく生きる人づくり
・体育授業や体育的行事等の充実と、家庭との連携を図った食育の推進
- (4) 愛情や誇りを感じ、夢や希望のもてる学校づくり
・児童が今泉小のよさを実感し、愛情や誇りのもてる学校経営
- (5) 9年間の学びをつなぎ、地域とともに歩む学校づくり
・地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制の構築
- (6) 教職員がやりがいを持ち、いきいきと勤務できる学校づくり

【泉が丘地域学校園教育ビジョン】

望ましい人間関係をつくり、進んで学び合う児童生徒の育成
～学びの泉 おもいやりの泉 げんきの泉～

4 教育課程編成の方針

公教育の立場から日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則、学校保健安全法、小学校学習指導要領、とちぎ教育振興ビジョン、宇都宮市学校教育推進計画（うつのみや“いきいき学校”プラン）、第2次宇都宮市学校教育スタンダード等の関連法令等に則り、本校の教育目標、学校経営の基本方針を踏まえて編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】

- 「地域はみんなの学校」を目指し、地域内小中学校、保護者、地域、団体、企業などとの連携・協力体制を構築し、地域の教育力を生かした教育活動の工夫・充実を図る。
- ・さまざまな「ふれあい」と「学び合い」により、たくさんの「よろこび」を味わうことで自信を深め、個々の力を伸長できる学校づくりをする。
- ・さまざまな働き方改革の視点から、校内の業務の適正化を目指し、勤務時間を意識した働き方を推進する。

【学 習 指 導】

○めあてを明確に提示することと振り返りの時間を確保すること、適切な場面で学び合えるようにすることで児童の主体的な学習活動参加を促進し、積極的な自己表現力とコミュニケーション能力の向上を目指す。

指す。

◆研究課題（テーマ）「自ら考え進んで学び合う児童の育成をめざして」
～主体的参加を促す授業デザインの工夫～

【児童生徒指導】

○家庭・地域・学校園と連携して取り組む安全・安心の学校づくり

～人とのつながりを大切にし、自分の成長を意識できる児童をめざして～

【健康（体力・保健・食・安全）】

○一人一人の児童が主体的に、楽しく生き生きと活動できる充実した体育授業の展開

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評 価															
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答90%以上	① 自分の考えを発表できるような場を設けるとともに、自己表現とコミュニケーション能力の向上を目指した授業の工夫をする。 ② 地域学校園で作成した「家庭学習の手引き」を活用して、児童・保護者に家庭学習について啓発する。 ③ 学業指導を充実させ、体験的学習や問題解決学習を積極的に取り入れ学習意欲の向上に努める ④ 自主学習を奨励し、学年・学級及び一人一人の実態に合わせた学習に取り組めるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td><td>児童</td></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>94.9</td><td></td><td>94.8</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>89.9</td><td>100.0</td><td>92.4</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率が数値指標を達成した。保護者の肯定的回答率も昨年度を上回った。 【次年度の方針】 ① 自分の思いや考えを発表できるような場や話合いの形態を工夫するなど、コミュニケーション能力の向上を図った授業づくりに努める。 ② 地域学校園で作成した「家庭学習の手引き」を活用して、継続して児童・保護者に家庭学習について啓発する。 ③ 体験的学習や問題解決学習を積極的に取り入れ学習意欲の向上に努める。 ④ 引き続き、学年・学級及び一人一人の実態に合わせた学習に取り組めるよう基本的な学習習慣の定着を図るとともに、自主的な学習の奨励、家庭学習の習慣化を進めていく。		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	94.9		94.8	H31	100.0	89.9	100.0	92.4
		教職員	保護者	地域	児童														
R1	100.0	94.9		94.8															
H31	100.0	89.9	100.0	92.4															
	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答80%以上	① 朝の会や帰りの会で、児童の善い行いを称賛する機会をもつ。 ② 道徳科において、自分自身を見つめ人物に共感して自分との関わりで考える授業を行う。 ③ 明確なねらいをもち、幼・保・中・高・地域の人との交流活動に進んで取り組む。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td><td>児童</td></tr><tr><td>100.0</td><td>88.6</td><td>100.0</td><td>92.0</td></tr></table> ・肯定的回答率が数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①②相手意識をもった豊かな心が育つように生活場面、学級活動、道徳の時間において継続的に指導・支援をしていく。 ① ねらいを明確にして、幼・保・中・高・地域の人との交流活動に進んで取り組む機会を設ける。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	88.6	100.0	92.0							
教職員	保護者	地域	児童																
100.0	88.6	100.0	92.0																

A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、きまりやマナーを守って生活している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 85%以上	① 家庭や地域社会との連携を充実させ、「今泉小のあたりまえ」（挨拶・廊下の歩行・次の準備・身だしなみ・言葉遣い）を指針にさらなる学級指導や全体への児童指導を通して規範意識を高める。特に廊下歩行を重点とする。 ② 「友達アンケート」に「今泉小あたり前五か条」のチェック項目を入れ、振り返りをさせることで意識を高める。 ③ 毎月の安全点検や安全指導の徹底を図り、児童が安全で快適に生活できるように努める。	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>94.6</td><td>93.0</td><td>100.0</td><td>92.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>97.4</td><td>93.2</td><td>100.0</td><td>84.1</td></tr></table> ・肯定的回答率が数値指標を達成し、児童はさらに昨年度を上回った。 ・共通理解のもと機会をとらえて意識化を図った。 【次年度の方針】 ① 学級指導や全体への児童指導を通して「今泉小のあたりまえ五か条」の定着を図るとともに規範意識を高める。特に挨拶を重点とする。 ② めあてをもった取組、振り返りを十分に行うとともに、児童の自発的な取組をさらに支援する。 ③ 安全点検や安全指導の徹底を図り、児童が安全で快適に生活できるように努める。		教職員	保護者	地域	児童	R1	94.6	93.0	100.0	92.0	H31	97.4	93.2	100.0	84.1
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	94.6	93.0	100.0	92.0														
H31	97.4	93.2	100.0	84.1														
A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童・保護者・教職員・地域住民の肯定的回答 80%以上	① 率先垂範と児童・保護者への啓発に努める。 ② 児童会主体で、あいさつ運動を計画的・継続的に推進する。 ③ <u>小中一貫学校園と連携したあいさつ運動の推進を図る。</u> ④ 「友達アンケート」にチェック項目を入れ、振り返りを行い、児童の自発的なあいさつを促す。 ⑤ 「親子で考えようあいさつ標語」を募集しあいさつへの関心を高める。	A	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>73.0</td><td>74.4</td><td>94.7</td><td>92.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>84.6</td><td>69.7</td><td>93.3</td><td>93.6</td></tr></table> ・教職員の肯定的回答率は、昨年度を下回った。保護者は昨年度を上回ったが、数値指標には届いていない。 ・家庭、地域との連携を図りながら目標に迫るような手立てを検討する必要がある。 【次年度の方針】 ① 各種たより等で児童・保護者・地域への啓発に努める。 ②③ 児童会主体で、あいさつ運動を計画的・継続的に推進する。<u>（小中一貫学校園と連携）</u>登下校時の挨拶が積極的に行えるように声を掛け、自発的な挨拶を促す。 ④ 振り返りを行うことで自分の挨拶について見つめ直す機会を作る。 ⑤ 「親子で考えようあいさつ標語」募集を継続し、あいさつへの関心を高める。		教職員	保護者	地域	児童	R1	73.0	74.4	94.7	92.0	H31	84.6	69.7	93.3	93.6
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	73.0	74.4	94.7	92.0														
H31	84.6	69.7	93.3	93.6														
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は夢や希望に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 根気強く取り組むことの大切さを学んだり、思いや願いを生かした課題を実践したりして、最後までやり遂げられるよう支援する。 ② めあてカード、学習カード、ワークシート等の活用により達成感や充実感を味わえるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.3</td><td>77.0</td><td></td><td>91.7</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回った。しかし、保護者は下回っている。 【次年度の方針】 ① めあてをもった取組を励まし、支援していくことで、粘り強さを育成し、達成感を味わえるようにする。児童の頑張りの様子を発信し、家庭と連携して支援していく環境づくりに努める。 ② 各種カードを有効に活用し、見通しをもって活動させるとともに、振り返りを十分に行い、次への意欲につなげられるようにする。	教職員	保護者	地域	児童	97.3	77.0		91.7							
教職員	保護者	地域	児童															
97.3	77.0		91.7															

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している。」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 体力の実態を把握し、体育の授業の充実に努める。 ② 健康診断の結果を把握し、家庭と連携しながら健康の保持増進に努める。 ③ 日常の給食指導とともに「お弁当の日」を親子で食事を考える機会として、子どもたちの食への関心を高める。 ④ 避難訓練・交通安全教室等、安全教育をとおして、自分の命を守るための行動力を身に付けられるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.6</td><td>91.1</td><td>100.0</td><td>95.3</td></tr></table> ・教職員、保護者の肯定的回答率は、数値指標を上回った。 ・教職員共通理解のもと、望ましい食習慣、健康習慣の定着、安全意識の向上のための指導に努めた。 【次年度の方針】 ① 体力テストや各種検定の結果から体力の実態を把握し、体育の授業の充実に努める。 ② 健康診断の結果を分析して指導・支援のポイントを明確にし、家庭と連携しながら健康の保持増進に努める。 ③ 日常の給食指導や各種頼りの発行、さらにお弁当の日の実施を通し、子どもたちの食への関心を高める。 ④ 安全教育を通して、自分の命を守るための行動力を身に付けられるようにする。	教職員	保護者	地域	児童	94.6	91.1	100.0	95.3
教職員	保護者	地域	児童								
94.6	91.1	100.0	95.3								
A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 学級経営を核に「宮未来キャリア教育」の充実を図る。 ② 地域での活動や地域の方との交流活動をとおして、自己の成長や変容を自己評価し、社会とのつながりを意識できるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.3</td><td>77.0</td><td></td><td>91.7</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回った。しかし、保護者は下回っている。 【次年度の方針】 ① キャリア教育の視点から保護者にも情報を発信し、連携した取組を行っていく。 ② 前年度の取組を継続し、児童が自己の成長や変容を自己評価し、社会とのつながりを意識できるようにする。	教職員	保護者	地域	児童	97.3	77.0		91.7
教職員	保護者	地域	児童								
97.3	77.0		91.7								
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 教員が進んで英語を使うとともに、ALT を活用した英語による学習活動を中心とした授業を行う。 ② 生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ・ALT との交流の場の工夫 ・学校行事等へのALT の参加 ③ 外国語活動に向けた環境整備の推進に努める。 ・教材等、備品の管理の工夫 ・校内掲示の工夫	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td></td><td></td><td>92.2</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回った。 ・ALT との事前打ち合わせを密にすることで、授業の充実を図った。 【次年度の方針】 ① 研修の充実を図り、教員の授業力向上を図るとともに、ALT を活用した英語による学習活動を中心とした授業を行う。 ② 生きた英語に触れる機会の充実を図る。 ③ 教材・教具の工夫、資料の充実を図り、英語関わる環境整備の推進に努める。	教職員	保護者	地域	児童	100.0			92.2
教職員	保護者	地域	児童								
100.0			92.2								

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮のよさを知っている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 生活科や社会科の地域を学ぶ学習をとおして郷土への愛情と誇りをもてるようにする。 ② 特別活動（学校行事等）における体験的な学習の場を設定する。 ③ 宇都宮の伝統文化、行事や催しを知る機会を設け啓発を行う。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>83.8</td><td>67.1</td><td></td><td>89.8</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回ったが、十分な達成とはなっていない。 【次年度の方針】 ① 地域を学ぶ学習をとおして郷土への愛情と誇りをもてるようにするとともに、保護者に児童の様子を発信していく。（HP・学級懇談など） ② ③「宇都宮学」実施にあたり、充実した指導ができるように研修を深める。また、宇都宮の伝統文化を親子で学ぶなど、特別活動（学校行事等）における体験的な学習の場を設定する。	教職員	保護者	地域	児童	83.8	67.1		89.8
教職員	保護者	地域	児童							
83.8	67.1		89.8							
A 10 児童は、I C T機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 各教科等の授業において、情報の収集、選択にパソコンを活用するなどして主体的な学習を推進する。 ② 図書館利用の仕方や機器の使用について発達段階に応じた指導を継続的に行う。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>94.6</td><td>70.6</td><td></td><td>88.6</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回った。 【次年度の方針】 ① パソコン室や図書館の活用を促進し、児童が効果的に情報を収集できるような能力を高めていく。また児童が ICT機器や図書館を利用して学習している様子などを、学年・学校からの便りやHP等を通して発信することで、保護者の理解と協力を得られるようにしていく。 ② 情報主任、図書主任、図書館司書と連携しながら、図書館利用の仕方や機器の使用について発達段階に応じた指導を継続的に行う。	教職員	保護者	地域	児童	94.6	70.6		88.6
教職員	保護者	地域	児童							
94.6	70.6		88.6							
A 11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 80%以上	① 高齢者の協力を得た教育活動を行い、高齢者から学ぶ機会を設ける。 ② 学校行事に招待したり、地域の活動に参加したりすることで高齢者との交流を図る。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>88.6</td><td>100.0</td><td>92.0</td></tr></table> ・教職員、児童の肯定的回答率は、数値指標を上回った。 ・敬老会、運動会などの行事・活動、昔遊びや戦争体験の講話など、高齢者と交流したり学習したりする活動を行った。 【次年度の方針】 ① 敬老会、運動会、昔遊び、戦後体験の講話など高齢者の協力を得た教育活動を行い、高齢者から学ぶ機会を設ける。 ② 学校行事に招待したり、地域の活動に参加を奨励したりすることで高齢者と関わる機会をもてるようにする。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	88.6	100.0	92.0
教職員	保護者	地域	児童							
100.0	88.6	100.0	92.0							

目指す学校の姿	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について、関心をもっている。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答80%以上	① 読書活動において、環境やエネルギー、防災などの書籍を紹介し、日常生活と地球の課題の関連に気付く機会をもつ。 ② 委員会活動や各教科において省エネ運動、リサイクル活動に取り組み、環境問題についての関心を高める。	A 【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>73.0</td><td></td><td></td><td>87.1</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、数値指標を達成したが、教職員は下回った。 【次年度の方針】 ① 各教科指導、読書活動において、環境やエネルギー、防災などの書籍を紹介し、日常生活と地球の課題の関連に気付く機会をもつ。継続して指導していくことで、児童の実践力を高めていく。 ② 委員会活動、学級活動等において具体的な取組の実践化を図る。	教職員	保護者	地域	児童	73.0			87.1						
	教職員	保護者	地域	児童													
	73.0			87.1													
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上	① 児童の実態を把握するとともに保護者と情報交換しながら適切な支援を行う。 ② 特別支援教育コーディネーターや日本語担当指導教員を中心に研修を行うとともに個別支援計画に基づいた支援機能の充実を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・肯定的回答率は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 保護者と情報交換をし、個々の児童を理解した上で教職員相互が連携し、協力した支援の取組ができるようにする。 ② 前年度の取組を継続し、個別支援計画に基づいた支援機能の充実を図る。	教職員	保護者	地域	児童	100.0									
教職員	保護者	地域	児童														
100.0																	
A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上	① 「今泉小学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめの早期発見・早期対応や全校体制での支援に努める。また、実際に行っているいじめ対策をより積極的に公表するよう努める。 ② 学年だより・児童指導だより等に「友達アンケート」についての記載をして、啓発に努める。 ③ 各教科・道徳・学級活動・日常生活の指導をとおり、いじめを許さない児童の育成に努める。	B 【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>81.1</td><td>100.0</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>86.4</td><td>100.0</td><td>98.7</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、数値指標を達成した。保護者の肯定的回答率は、昨年度を下回った。 【次年度の方針】 ① 「今泉小学校いじめ防止基本方針」のもと、いじめの早期発見・早期対応や全校体制での支援に努める。 ② 各種便り、懇談会等で、学校での取り組みを保護者に丁寧に説明していく。各種便りに「友達アンケート」についての記載をして、啓発に努める。 ③ 各教科・道徳・学級活動・日常生活の指導をとおり、継続していじめを許さない児童の育成に努める。		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	81.1	100.0	98.5	H31	100.0	86.4	100.0	98.7
	教職員	保護者	地域	児童													
R1	100.0	81.1	100.0	98.5													
H31	100.0	86.4	100.0	98.7													
A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている。」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 一人一人の良さを認め、励ますような温かい雰囲気学の級づくりに努める。 ② 児童同士がともにかかわり合いをもつ、望ましい人間関係に努める。 ③ 児童が主体的に活動する場面や、活躍できる場面を設定する。 ④ 欠席状況共有シートや日々の様子の記録等を活用した情報共有を推進し、共通理解に基づいた組織的計画的な支援を推進する。	B 【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td>85.4</td><td></td><td>96.7</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、数値指標を達成した。一方、保護者の肯定的回答率は、教職員・児童を下回っている。 【次年度の方針】 ①②③ 児童のよさが認められ活躍できる場を増やし、居がい感、自己肯定感を育む。 ④ 教職員共通理解のもと、個に応じた支援をする。全校体制で児童や保護者に寄り添った支援に努める。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	85.4		96.7							
教職員	保護者	地域	児童														
100.0	85.4		96.7														

A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 学級担任、日本語担当指導教員、全教職員が連携し、共通理解を図って支援する。 ② 母語指導者、日本語ボランティアと連携し、児童・保護者への指導、支援を行う。 ③ 個性を認め合う受容的で温かな学級づくりに努める。	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>100.0</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・肯定的回答率は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 全職員が連携し、情報交換をしながら共通理解を図って支援する。 ② 母語指導者、日本語ボランティアと連携し、児童・保護者への指導、支援を行う。 ③ 継続して、個性を認め合う受容的で温かな学級づくりに努める。	教職員	保護者	地域	児童	100.0										
教職員	保護者	地域	児童														
100.0																	
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答90%以上	① 縦割り班活動を充実させ、集会活動、「仲良しタイム共遊」など、いきいきと活動できるように努める。 ② 異学年交流による縦割り班清掃活動等、協力したり助け合ったりする活動の充実に努める。 ③ 発達の段階に応じた係活動や委員会活動、行事をととして学校への帰属意識を高めるようにする。	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>97.3</td><td>91.1</td><td>100.0</td><td>94.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>97.4</td><td>96.5</td><td>100.0</td><td>91.9</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、昨年度を上回り数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 縦割り班活動を充実させ、一人一人がいいききと楽しく活動できるように支援する。 ② 各行事や学年・学級活動においても協力したり助け合ったりする活動の充実に努める。 ③ 全職員が共通理解のもと、情報を共有し、さらに自己存在感のもてる学校づくりに努める。		教職員	保護者	地域	児童	R1	97.3	91.1	100.0	94.0	H31	97.4	96.5	100.0	91.9
	教職員	保護者	地域	児童													
R1	97.3	91.1	100.0	94.0													
H31	97.4	96.5	100.0	91.9													
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上	① <u>校内研修等で、授業を互いに公開し、互いに高め合いながら授業力の向上に努める。</u> ② <u>ねらいを明確にした分かりやすいきめ細かな授業を工夫し、基礎・基本の定着を図る。</u> ③ 授業の展開や学習形態を工夫し学び合う学習を推進する。 ④ TT による指導や少人数による習熟度別学習を充実させ、個に応じたきめ細かな指導に努める。 ⑤ <u>今泉人材バンクや地域の施設を活用した体験的な学習を推進する。</u>	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>82.6</td><td></td><td>97.5</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>84.4</td><td>100.0</td><td>96.8</td></tr></table> ・肯定的回答率は、数値指標を達成した。保護者は、教職員・児童を下回った。 ・各種たよりや授業参観等で、授業の様子を伝えてきたが、より情報を発信し、理解と協力を得られるようにする必要がある。 【次年度の方針】 ① <u>校内研修の充実を図り、互いに高め合いながら授業力の向上に努める。</u> ② <u>ねらいを明確にした分かりやすいきめ細かな授業を工夫し、基礎・基本の定着を図る。</u>また、学力テストやアンケートの分析を行い、分かる授業のための授業法の工夫や教材教具の工夫に努める。 ③ 自分の思いや考えを表現し、互いに学び合う学習を推進する。 ④ 指導法や指導の形態を工夫し、個に応じたきめ細かな指導に努める。 ⑤ <u>今泉人材バンクや地域の施設を有効に活用した体験的な学習を推進する。</u>		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	82.6		97.5	H31	100.0	84.4	100.0	96.8
	教職員	保護者	地域	児童													
R1	100.0	82.6		97.5													
H31	100.0	84.4	100.0	96.8													

A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 学年主任や各教科・領域等主任の組織的な連携を図るために、学校内外のコミュニケーション環境の整備に努める。 ・管理職（副校長）による総合的な連絡調整の実施 ・業務担当教員との綿密な打ち合わせの実施 ・各スタッフによる関係職員への積極的な情報提供の推進 ② 職員会議や打合せの機会を活用し、専門スタッフとの情報交換を密にする。	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>94.6</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td>94.9</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・肯定的回答率は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 職員相互の業務内容を理解し、コミュニケーションを図りながら協力し合える体制づくりに努める。 ② 前年度の取組を継続し、専門スタッフとの情報交換を密にする。		教職員	保護者	地域	児童	R1	94.6				H31	94.9			
	教職員		保護者	地域	児童													
R1	94.6																	
H31	94.9																	
A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 業務の精選・見直しなど行い、校務分掌に位置づける。 ② 教職員の勤務時間・勤務状況を意識し合い、他の教職員の業務支援を適切に行うなど、業務負担の軽減、分散化を図る。 ③ 「リフレッシュデー」を設定し、定時退勤を推進し、教職員の意識付けを図る。	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>89.2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H31</td><td>79.5</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ・肯定的回答率は、昨年度を上回り、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ①② 本年度の業務の振り返り、分析を行い、業務内容や分掌の見直し、効率化を図る。 ③ 昨年度の取組を継続し、教職員の意識付けを図る。		教職員	保護者	地域	児童	R1	89.2				H31	79.5			
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	89.2																	
H31	79.5																	
A 21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 地域学校園共同開催行事「駅東公園清掃」を計画的・継続的に実施し中学生との交流を深める。 ② 各種便り等で、乗り入れ授業や宮っこチャレンジ・公園清掃等について、積極的に発信していく。	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>80.1</td><td>100.0</td><td>79.8</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>84.1</td><td>100.0</td><td>87.4</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、昨年度を下回り数値指標を達成できなかった。 ・公園清掃の実施学年の縮小、中学校からの乗り入れ授業の回数減なども原因と考えられる。 【次年度の方針】 ① 今までの取組に加えて、小中一貫のあいさつ運動や防災訓練での中学生との活動をとおして、さらに交流を深められるようにする。 ② 学校として各種便り等を活用し、取組を積極的に発信していく。		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	80.1	100.0	79.8	H31	100.0	84.1	100.0	87.4
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	100.0	80.1	100.0	79.8														
H31	100.0	84.1	100.0	87.4														

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、地域や企業の方々と一緒に活動することで学習が充実し、楽しい。」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 各種通知やホームページなどを活用し、家庭や地域へ情報発信することで相互理解を図る。 ② 学校における教育活動に地域の人材等の教育力を生かし、地域との連携を図った活動を実践する。	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>87.4</td><td>100.0</td><td>92.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>93.5</td><td>100.0</td><td>88.9</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、昨年度を上回り、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 家庭や地域へ情報発信することで相互理解を図り、さらに連携を図った取組ができるようにする。 ② 地域の教育力を取り入れた取組を継続し、情報交換しながら地域との連携を図った活動を実践する。		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	87.4	100.0	92.3	H31	100.0	93.5	100.0	88.9
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	100.0	87.4	100.0	92.3														
H31	100.0	93.5	100.0	88.9														
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答90%以上	① 今泉小地域協議会を有効活用し学校運営の充実を図る。 ② コーディネーター等と連携し、<u>地域人材や地域資料を有効活用した教育活動を推進する。また、保護者にもさらにボランティア等の協力を仰ぎ、学校と家庭との連携も強めていく。</u> ③ <u>地域や学校園との連携・協力をより一層推進する。</u>	B	【達成状況】 <table><tr><th></th><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>R1</td><td>100.0</td><td>87.4</td><td>100.0</td><td>92.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>100.0</td><td>93.5</td><td>100.0</td><td>88.9</td></tr></table> ・地域・企業と連携・協力して教育活動を行うことができた。 ・保護者の肯定的回答率は、昨年度を下回り数値指標を達成できなかった。 【次年度の方針】 ①②地域協議会、地域コーディネーターと連携し、<u>地域の各種団体や学校支援ボランティアの支援を得た取組を継続し、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。</u> ③ 児童のさまざまな活動の様子や地域・団体・企業と連携した取組を積極的に情報発信して、理解と協力を得られるようにしていく。		教職員	保護者	地域	児童	R1	100.0	87.4	100.0	92.3	H31	100.0	93.5	100.0	88.9
	教職員	保護者	地域	児童														
R1	100.0	87.4	100.0	92.3														
H31	100.0	93.5	100.0	88.9														
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒保護者・地域住民の肯定的回答80%以上	① 施設・設備、器具・用具等の定期的な安全点検の実施に取り組む。 定期点検 臨時点検 日常点検 ② 行政担当課や機動班等と迅速に情報を共有し、施設等の維持管理や改善に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><th>教職員</th><th>保護者</th><th>地域</th><th>児童</th></tr><tr><td>97.3</td><td>86.5</td><td>100.0</td><td></td></tr></table> ・保護者の肯定的回答率は、数値指標を達成した。 【次年度の方針】 ① 教職員の危機管理意識を高め、施設・設備、器具・用具等の安全点検の実施に取り組む。 ② 行政担当課や機動班等と迅速に情報を共有し、施設等の維持管理や改善に努める。	教職員	保護者	地域	児童	97.3	86.5	100.0								
教職員	保護者	地域	児童															
97.3	86.5	100.0																

	A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に活用している。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 8 0 % 以上	① 学校図書館司書と連携し、学習に必要な図書の充実を図る。 ② 市立図書館と連携した希望図書の有効活用を図ったり、 I C T 機器の有効な活用法について研修を深めたりする。	B	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td><td>児童</td></tr><tr><td>94.6</td><td>70.6</td><td></td><td>88.6</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、数値目標を達成した。保護者の肯定的回答率は、下回った。 【次年度の方針】 ① 学習や活動での有効な活用について情報を収集するとともに、学校図書館司書、情報主任と連携し、学習に必要な図書、教材・教具の充実を図る。 ② 市立図書館と連携した希望図書の有効活用を図ったり、 I C T 機器の有効な活用法について研修を深めたりして、学習活動に生かす。また、児童の活動や取組の様子を情報発信していく。	教職員	保護者	地域	児童	94.6	70.6		88.6
教職員	保護者	地域	児童									
94.6	70.6		88.6									
本校の特色・課題等	B 1 自分の学校のよさを実感し、自校への愛情や誇りがもてる。 【数値目標】 全体アンケート「学校のよいところや自慢できることを知っている」 ⇒児童肯定的回答 8 0 % 以上	① 共に生きる力を育てる活動の充実を図る。 ・縦割り班活動 なかよし班活動 縦割り清掃 ・特別支援学級と通常の学級との交流 ・体験活動の充実 ② 自他の違いを理解し、尊重し合い支え合う望ましい学級集団づくりを目指す活動の充実を図る。 ③ 望ましい食習慣の定着を図る。 ・栄養士による授業 ・各たより発行による啓発と家庭との連携 ・お弁当の日の活用 ④ 地域の教育力を積極的に活用し連携を図る。 ・地域の団体・施設と連携した教育活動 ・防災訓練や下校時の見守り	A	【達成状況】 <table><tr><td>教職員</td><td>保護者</td><td>地域</td><td>児童</td></tr><tr><td>100.0</td><td>87.2</td><td>100.0</td><td>86.4</td></tr></table> ・児童の肯定的回答率は、数値目標を達成した。 【次年度の方針】 ① 本校ならではの活動、取組のよさを明確にして、より充実感が味わえるよう工夫していく。 ② 前年度の取組を継続し、望ましい学級集団づくりを目指す活動の充実を図る。 ③ 望ましい食生活を図るための各種取組を推進し、さらに健康な体づくりのための指導の実施していく。 ④ 学校、家庭、地域の連携を図った取組を推進し、情報を発信していく。	教職員	保護者	地域	児童	100.0	87.2	100.0	86.4
教職員	保護者	地域	児童									
100.0	87.2	100.0	86.4									

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営について】

A17 「学校は活気があり、明るいきいきとした雰囲気である」教職員・児童・地域・保護者の肯定的割合 90%以上

A22 「学校は地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している」教職員・児童・地域の肯定的割合 90%以上
保護者はやや下回った。

A26 「児童は学校に愛着や誇りをもって学校生活を送っている」教職員・地域の肯定的割合 90%以上 児童・保護者はやや下回った。

- ・家庭・地域の協力のもと連携した取組を進めることができた。さらに、本校ならではの活動、取組のよさを明確にして、より充実感が味わえるよう工夫していきたい。
- ・地域の教育力を生かし、各種団体、企業、高校学校の協力を得て活動を行ってきた。取組や児童の様子を家庭や地域へ情報発信することで相互理解を図り、さらに連携を図った取組ができるようにしていきたい。
- ・業務の見直し勤務時間の意識化を図ってきた。さらに教職員相互の業務内容を理解し、コミュニケーションを図りながら、より協力し合える体制づくりに努めていきたい。

【学習指導について】

A1 「児童は進んで学習に取り組んでいる」教職員・児童の肯定的割合 90%以上

A18 「教職員は、分かる授業や児童生徒にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている」教職員・児童の肯定的割合 90%以上 保護者はやや下回った。

- ・落ち着いた学習態度の定着が図られており、進んで学習に取り組む姿が見られる。
- ・各教科の授業において、児童が自分の考えを発表できるような場を設け、自己表現とコミュニケーション能力の向上を目指した授業を展開していくことができた。引き続き、めあてから学習の振り返りまで、児童が主体的に学ぶ意欲につながるような授業の流れを工夫していくとともに、学級・学年及び一人一人の実態に合わせた学習など、基本的な学習習慣の定着や自主的な学習の奨励、家庭学習の習慣化を図っていきたい。
- ・体験的な学習や地域の教育力を生かした活動を継続し、自ら学ぶ意欲と学力を養っていきたい。

【児童指導について】

A4 「児童は時と場に応じたあいさつをしている」教職員 73% 保護者 74.4% 地域 94.7% 児童 92%

A14 「教職員はいじめが許されない行為であることを指導している」教職員・児童の肯定的割合 90%以上
保護者 81.1%

- ・全校体制で「今泉小学校あたりまえ5か条」の推進・定着を図ってきた。意識化は進んできたが、「あいさつ」については、まだ十分ではない。日々の指導、働きかけを続けるとともに、児童の自発的な取組を支援していくことで、自分から元気にあいさつできる児童の育成を目指したい。
- ・いじめは許されない行為であることを学級活動や児童会活動、さまざまな機会をとおして日常的に指導を進めてきた。日頃の児童の動向を十分に把握し、全校体制で迅速、かつ丁寧な対応に心掛けていきたい。
- ・学級活動や帰りの会などで、友達のよさを認め合う場を設けたり、教職員が声掛けをしたりしていくことで、一人一人が居がいのある学級・学校づくりに努めてきた。温かい雰囲気の中より互いのよさを認め、活躍できる場を増やすことで、自己有用感を高めいきいきと生活できるようにしていきたい。

【健康・体力について】

A6 「児童は健康や安全に気を付けて生活している」教職員・児童・地域・保護者の肯定的割合 90%以上

- ・各種検定や体育的行事を実施することにより、自ら体を動かす意欲を高めることができた。今後はさらに自ら運動する習慣を身に付けられるような取組を実施していきたい。
- ・健康的な生活習慣の定着や意識の向上のため、全体指導、個別指導、保健だよりをとおして継続的な啓発を実施してきた。保護者とも連携を図りながら、健康への関心を高めていきたい。
- ・給食だより・食育だよりなどで食に関する情報を提供した。また、栄養士が授業に参画したり、教室に入って児童に個別に声掛けをしたりするなどして食への意識を高めることができた。

7 学校関係者評価

- ・「宇都宮学」が来年度から始まるが、学校だけでなく、家庭・保護者が宇都宮について知り、子どもたちに伝えていく必要がある。
- ・「あいさつ」については、多くの人が行き来する地域性もあり、「だれにでも」は、難しい面もある。ただ、登下校時や地域活動などで出会う方に、進んであいさつできる子どもになってほしい。大人からもなかなかあいさつの声が聞かれない様子も見られるので、子どもの指導とともに、大人への啓発も必要となってくる。
- ・英語でのコミュニケーションについては、子どもたちは自然と取り組んでいるのではないか。外国語科、外国語活動の時間だけでなく、日常でも進めてほしい。
- ・図書整備、ICT活用については、外からはなかなか見えない部分。保護者にも積極的に知らせていくとよい。
- ・「地域教育力を生かした教育」「家庭・地域・企業と連携した教育」の項目で、保護者の肯定的割合が低めなのは、保護者と地域の関わりが薄いことも考えられる。地域としても考えていきたい。
- ・駅東という交通量の多い地域ということも考えると、アンケートに交通安全についての項目もあるとよいのではないか。
- ・LRTの整備が進み、今後開通すると地域の環境も変化していくことが考えられる。児童を取り巻く環境の整備、児童指導面での配慮・検討が必要になってくるであろう。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

アンケート結果、学校関係者評価を受け、次年度も、さらに組織的・継続的な取組を充実・発展させ教育活動の充実と目標の具現化を目指していきたい。本年度、課題として挙げられた内容については、さらに分析を進め、より効果的な方策を講じていきたい。

- ・地域や保護者の思いや願いに十分に耳を傾け連携した取組を進めるとともに、学校での取組、児童の様子を家庭や地域へ情報発信することで相互理解を図り、さらに連携を図った取組ができるようにする。
- ・一人一人の実態に合わせた学習支援、基本的な学習習慣の定着や自主的な学習の奨励、家庭学習の習慣化を図っていきたい。
- ・温かい雰囲気の中より互いのよさを認め、活躍できる場を増やすことで、自己有用感を高めいきいきと生活できるようにしていきたい。
- ・日々の指導、働きかけを続けるとともに、児童の自発的な取組を支援していくことで、自分から元気にあいさつできる児童の育成を目指したい。